

殿

骨材試験報告書

令和 年 月 日

工 事 名

工事場所

製 品 名

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





受 付 日： 令和 3 年 2 月 25 日

〔碎砂〕

令和 3 年 4 月 1 日

発行責任者 所 長 小 林 宏 成





骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田碎石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和3年2月25日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村 嘉孝
試料搬入日		令和3年2月25日
試験日		令和3年2月26日 ～ 令和3年3月31日

試験体種類		産地
細骨材	砕砂	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	3.09
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	1.2
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.71
		実積率 %	64.8
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	淡い
密度及び吸水率試験	JIS A 1109	表乾密度 g/cm ³	2.67
		絶乾密度 g/cm ³	2.64
		吸水率 %	1.28
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	—
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	1.4
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.05
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	0.000
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		榎田 直也	



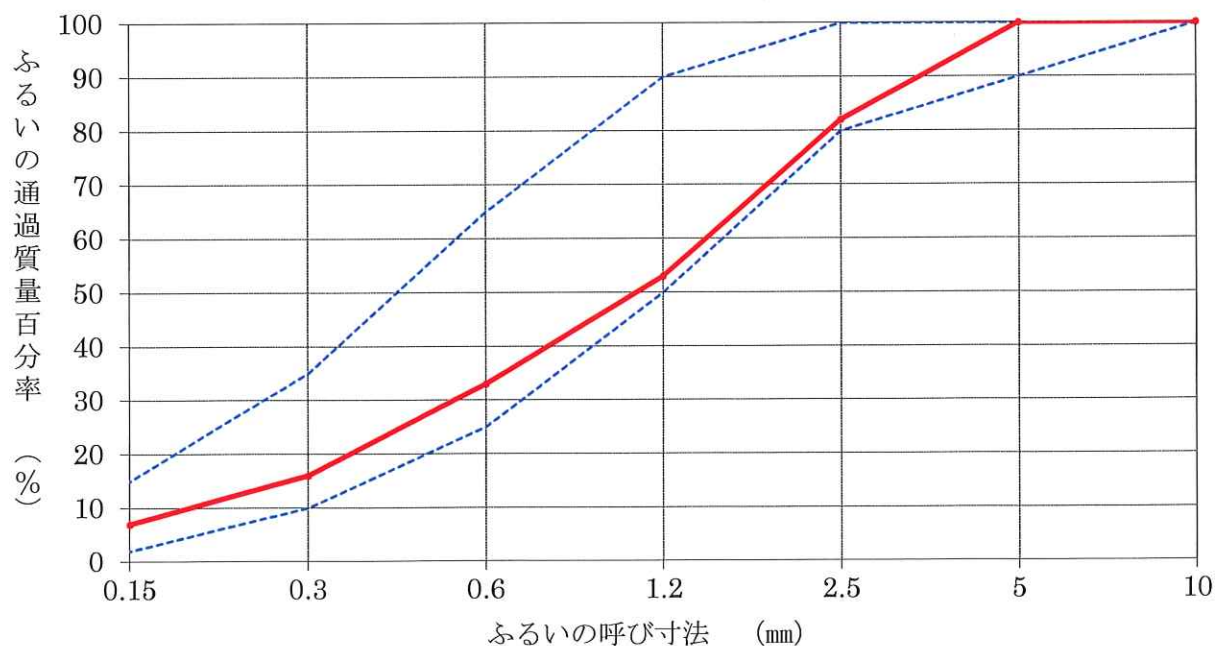
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（細骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 3 年 3 月 4 日			
試料	種類	砕砂	最大寸法	5mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 3 年 2 月 25 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	564.9	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量 (g)	連続する各ふるいの間ににとどまる試料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
10	0.0	0	0	100
5	0.0	0	0	100
2.5	102.1	18	18	82
1.2	165.0	29	47	53
0.6	110.2	20	67	33
0.3	96.8	17	84	16
0.15	53.2	9	93	7
受け皿	37.4	7	100	0
合計	564.7	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.04	粗粒率	3.09	
隣接するふるいにとどまる量の質量分率の差の最大値 (%)			29	

粒度曲線図





試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（細骨材）

試験担当者： 榎田 直也

細 骨 材				
試 験 日			令和 3 年 3 月 3 日	
試 料	種 類		砕砂	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)		m ₁	517.9	530.3
洗った後の試料の乾燥質量 (g)		m ₂	511.7	524.1
骨材の 微粒分量 $= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)		A	1.2	1.2
2回の試験の平均値 (%)		$\overline{A}$	1.2	
平均値からの差 (規格値:0.3%以下)			0.0	



試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 3 年 3 月 31 日	
試 料	種 類		砕砂	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
単 位 容 積 質 量	容器の質量	(kg) (1)	0.908	0.908
	容器の容積	(l) V	2.001	2.001
	(容器＋試料)の質量	(kg) (2)	4.321	4.335
	試料の質量＝(2)－(1)	(kg) m ₁	3.413	3.427
	単位容積質量＝ $\frac{m_1}{V}$	(kg/l) T	1.71	1.71
	2回の試験の平均値	(kg/l) $\overline{T}$	1.71	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実 積 率	試料の絶乾密度	(g/cm ³) d _D	2.64	
	実積率＝ $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$	(%) G	64.8	



試験規格 JIS A 1105

細骨材の有機不純物試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日		令和 3 年 3 月 11 日
試 料	種 類	砕砂
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字
	採 取 日	令和 3 年 2 月 25 日
	採 取 場 所	骨材堆積場
試 験 結 果 (標準色液又は色見本よりも)		淡い

試験規格 JIS A 1109

細骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 3 年 3 月 12 日	
試 料	種 類		砕砂	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
表 乾 密 度	水を満たした ピクノメータの全質量 (g)	m ₁	1153.0	1166.0
	表乾密度試験用試料の質量 (g)	m ₂	585.1	595.5
	試料と水で満たした ピクノメータの質量 (g)	m ₃	1519.5	1538.6
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ _w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_2 \times \rho_w}{m_1 + m_2 - m_3}$ (g/cm ³)	d _s	2.67	2.67
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\bar{d}_s$	2.67	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00	
絶 乾 密 度	表乾状態の 吸水率試験用試料の質量 (g)	m ₄	578.4	587.1
	乾燥後の 吸水率試験用試料の質量 (g)	m ₅	571.1	579.7
	絶乾密度 = $d_s \times \frac{m_5}{m_4}$ (g/cm ³)	d _d	2.64	2.64
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\bar{d}_d$	2.64	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00
吸 水 率	吸水率 = $\frac{m_4 - m_5}{m_5} \times 100$ (%)	Q	1.28	1.28
	2回の試験の平均値 (%)	$\bar{Q}$	1.28	
	平均値からの差 (規格値:0.05%以下)			0.00

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—



試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（細骨材）

試験担当者： 榎田 直也

細 骨 材							
試 験 日				令和 3 年 3 月 26 日			
試 料		種 類		砕砂			
		産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採 取 日		令和 3 年 2 月 25 日			
		採 取 場 所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	$\frac{① \times P_1}{100}$
(mm)	(mm)	(g)	(%)	m_1	m_2	P_1	(%)
0.15	—	37.4	7	—	—	—	—
0.3	0.15	53.2	9	—	—	—	—
0.6	0.3	96.8	17	100.0	97.0	3.0	0.5
1.2	0.6	110.2	20	100.0	97.9	2.1	0.4
2.5	1.2	165.0	29	100.0	98.8	1.2	0.3
5	2.5	102.1	18	100.0	98.8	1.2	0.2
10	5	0.0	0	—	—	—	—
合 計		564.7	100	—	—	—	1.4

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。



試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

細 骨 材			
試 験 日		令和 3 年 3 月 24 日	
試 料	種 類	砕砂	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 3 年 2 月 25 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	607.2
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	606.9
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.05

注) 試験の回数は1試料につき1回とする。ただし、最初の試験で粘土塊量が1.0%を超える場合は再度試験を行う。



試験規格 JIS A 1144 4.b

細骨材の塩化物量試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 3 年 3 月 12 日	
試 料	種 類	砕砂		
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採 取 日	令和 3 年 2 月 25 日		
	採 取 場 所	骨材堆積場		
細骨材の試料※	(g)	—	1001.9	
試料のろ液	(ml)	V	50	50
28.2mol/L硝酸銀溶液 消費量 (ml)	始点 (ml)	a1	0.00	0.00
	終点 (ml)	a2	0.15	0.15
	a = a2 - a1	a	0.15	0.15
塩化物イオン量 (mgCl/L)	C	3	3	
塩化物の含有率 (NaClとして)	(%)	0.000	0.000	
2回の試験の平均値	(%)	0.000		
[計 算]				
$C = \frac{a \times f \times 1000}{V} \times 1$				

※骨材の塩化物量試験に用いる試料溶液の調製は、JIS A 5002の5.5（塩化物）による。

- ・ 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・ 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・ 本試験結果の一部分を、当試験所の名称を付してカタログに記載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

株式会社 M・T 技研 中央材料研究所
〒916-0068 福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地
TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723